



# 創造と改革

The Breakthrough Company GO代表  
**三浦 崇宏氏**



「コロナで日替にあらわれていたアクリル板が、別の形になって活躍するチャンス。特別感のある商品を開きたい」と力を込めた。

の感情や社会のあるべき姿をイメージし、その先に新しい可能性を創ろうとするからこそ、何かを変えることができる。人口減少が進む日本において、ビジネスを成長させるためには、ブランド化による価格の向上とサービス化によるライフタイムバリューの向上が欠かせない。ユーの向上がためにクリエイティブとは「想像し、創造する力」。他者ではブランドとは何か。一番シンプルな定義は「企業文化」だと、悔しい気持ちがある。みづら・たかひろ 2007年、博報堂に入社し、マーケティング・PR・クリエイティブの3領域を統括。TBWA/HAKUHODOを経て17年に独立。「やっちゃんNINTENDAN」などの広告やキャンペーンを手がける。

## 特別講演 前に進む力高めて

博報堂で10年働いた後に独立した。現在は社長をしながら、クリエイティブディレクターとして、マーケティングやブランディングの責任者の立場で企業をサポートしている。ユーの向上がためにクリエイティブとは「想像し、創造する力」。他者ではブランドとは何か。一番シンプルな定義は「企業文化」だと、悔しい気持ちがある。みづら・たかひろ 2007年、博報堂に入社し、マーケティング・PR・クリエイティブの3領域を統括。TBWA/HAKUHODOを経て17年に独立。「やっちゃんNINTENDAN」などの広告やキャンペーンを手がける。

高崎商科大3年  
**菅野 航平さん**



新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、不要になったアクリル板は着目。若者を中心に人気を集めるアクリルスタンドに加工して販売する事業を発表した。アクリル板の廃棄が増加していると指摘。企業などから回収することで原料を確保でき、環境問題の解決にも寄与できると訴えた。「コロナで日替にあらわれていたアクリル板が、別の形になって活躍するチャンス。特別感のある商品を開きたい」と力を込めた。

つばさ公益社  
**篠原 憲文さん**



誰もが安心して旅立てる社会を目指し、経済的な負担の少ない葬儀を提案した。参列人数や通夜と告別式の有無に応じてさまざまな価格の葬儀プランを用意。スマートフォンを活用した店舗運営で固定費を抑え、他社に対する優位性も確立した。遠隔地向けには棺や骨つばさなどを含めた「DIY葬セット」を通信販売し、低予算の葬儀を可能にした。篠原さんは「まずは群馬に拠点を持たせたい」と目標を語った。

NPO法人共に暮らす  
**アジズ・アフメッドさん**



日本語が話せない、読み書きができない家族のために学校を休んで行政の手続きに行ったり、病院に付き添ったりしていた幼少期の体験を基に、日常生活に必要な情報を多言語でまとめるアプリを考案した。子どもたちの負担軽減、将来のキャリア形成の重要性を説いた上で、「ニッチな需要だが、外国にルーツを持つ子どもが『言葉のヤングケアラー』に陥っている現状を知ってもらえただけでも意義があった」と語った。

花助  
**小林 志保さん**



好きな人や物を応援する「推し活」に特化した花を贈るサービスを考案した。イベントやライブなど、状況に応じた最適な花を提案する仕組み。花助が持つ販売データやレビューデータを集約し、データベースを構築。どんな花が「推し」に喜ばれるのかを分析し、多数の候補の中から三つにまで絞って提案する。「まずは『推し活』に特化した花屋のネットワークを構築していきたい」と力を込めた。

県立前橋高2年  
**小野 瑛太さん、村田 佳成琉さん**



表情から感情を察知して気分に合わせて音楽を再生する「空気を読むAI(人工知能)」を考案した。AIに「名づけたい」と名づけた。高齢化や未婚率の上昇に伴い、単身者が増加している。孤独による心身の健康問題が社会課題となる中、能動的に話し相手になり、体調不良時の対応もできる、人に寄り添うAIを目指している。2人は科学物理部の同級生。「実用化に向け、技術面を改善していきたい」と先を見据えた。

前橋東高2年  
**中島 瑠香さん、村上 花音さん**



高校では禁止されているメイクが、社会人になると「マナー」となる。でも実際どのような化粧が自分に向いているのか。高校生や大学生をターゲットに、悩みを解消する事業を考案した。メイクをアドバイザーとする美容部員らと利用者を結ぶアプリの開発と、商業施設でのイベントを開催。メイクをする計画だ。2人は「化粧選びも難しい。メイクで悩む人に革命を起こす」と意気込んだ。

ナラティブハート  
**門倉 紀子さん**



国内で2人に1人ががんになる現代。患者第一主義を信条に、看護師を30年間務めていた経験から、がん患者に寄り添ったケアの必要性を伝えた。自身の知見を生かし、①患者や家族に向けたオンラインカウンセリング②医療者や学生に患者の声を届けるセミナー講師③抗がん剤による不妊のサポートに取り組み計画。自分を責めたり引け目を感じたりしない社会を、群馬から世界へと広げたい」と語った。

いちもん  
**木下 隆介さん**



「かけがえのない日本の食を残したい」。飲食店のレジを職人の腕と冷凍技術で再現し、思いの味をいつでも提供できる共創を考案した。サービスと消費が同時に行われる飲食業は、経営が難しく後継者不足に直面すると指摘。いちもの強みを生かし、逸品の味を損なわず冷凍食品にして提供する案を掲げた。各店舗の経営の手助けもできるとした。技術の発展で食品への思いを継承したい」と語った。

## ファイナリストプレゼン

ビジネスプラン部門 大学生・専門学校生の部

ビジネスプラン部門 高校生以下の部

ビジネスプラン部門 一般の部

起業家発掘プロジェクト「群馬イノベーションアワード2023」に協賛しています。


ファイナリストと審査員らがステージ上に勢ぞろい、華やかに迎えたファイナル。



# 未来へ発信

迫力満点のステージを繰り広げた東京農大二高吹奏楽部



迫力満点のステージを繰り広げた。一糸乱れぬ隊列や美しくなびくフラッグの動きが鮮やかで、大勢の観客の心をつかんでいた。部長の山宮悠暉さん(3年)は「演奏中の細かい動きまで意識して練習してきた。迫力満点のステージを感じてもらえたと思う」と満足そうに話した。

顧問の樋口一朗教諭は「初となる海外での演奏経験で、生徒の自己表現に磨きがかかった。自信を持って演奏できている」と話す。今回は、アニメソングメロデーやチャイコフスキーのクラシック曲をアレンジした楽曲「エクストリーム・メイクオーバー」など台湾での公演と同様の曲目を繰り広げた。



東京農大二高(高崎市)の吹奏楽部員148人がオープニングやインターバルコンテンツに彩りを添えた。迫力ある堂々としたバンド演奏と、色とりどりの衣装を身にまとったカラーガードが協演、会場を盛り上げた。部員は今年、台湾の建国記念日に合わせた式典に招かれ、台湾総

## 動き鮮やか会場彩る 農二高吹奏楽部

### 総評

審査委員長・慶応大教授 国領 二郎氏



485件の応募を勝ち抜いたファイナリストの皆さんに誇りを持ってほしい。それをサポートしてきた皆さん、さらに県全体の皆さんに感謝したい。今回の審査も白熱した議論となった。ビジネスとしての将来性やどのような社会課題に込めているか、応える可能性があるか、いくつかの基準で選考した。

## 将来性や可能性に夢

大賞となった東京大4年の加藤徳明さんのプランは、海なし県の群馬が海産物のブランドとなるように夢がある。それをすでに具体的な形で実践している点を評価した。GIAは11回目となり、イノベーションの地として定着してきている。大変心強くなる取り組みに参画していることを光榮に思う。

### 交流会

上毛新聞社 関口社長あいさつ 「課題を深く掘り下げた」

懇親を深めた。主催者を代表して上毛新聞社の関口雅弘社長が「ビジネス課題を深く掘り下げた具体性のある発想ばかりだった」とあいさつ。実行委員長を務められるジンズホールディングスの田中仁CEOは発表の質の高さを評価した上で、来年開かれる全国規模のイノベーションアワードを見据え、群馬を起業の聖地として盛り上げていこうと述べた。出場者が登壇して喜びを語ったり、互いに意見交換したりして盛況だった。

表彰式後に交流会が開かれ、15組の出場者をはじめ、審査委員や企業関係者ら計300人が出席した。出場者の健康をたてえ合って交流会で乾杯する受賞者。



## 歴代ファイナリスト、協賛社、企業 35ブース出展 商品PR



多くの来場者でにぎわう群馬イノベーションマーケットの会場

イノベーションマーケット 歴代GIAファイナリストや協賛社、県内を拠点に活動する企業が出展する群馬イノベーションマーケットは、35社・団

体が会場入り口近くにブースを出展し、最新の製品やサービスを紹介した。県産の素材を使ったアークセサリーやアップサイクル商品などが販売されたほか、各地の地域おこし協力隊や群馬NPO協議会が活動を紹介した。機能性インソール(靴の中敷き)の開発・製造を手がけるBMZ(みなかみ町の山口麻奈美さん(32)は「新開発のゴルフシューズをはじめ、商品を知ってもらう良い機会になった」と話した。

### 太田 雄彦氏



関東経済産業局長 太田 雄彦氏 社会の仕組みを変えて 関東経済産業局長に輝いたC&Fマーケティングの佐藤栄寿さんのプランは、日本が直面する課題の解決に資するもの。こうした試みをもっと広げていってほしい。イノベーションは世の中を変えることに意味がある。今あるものをデジタル化するだけでは不十分。皆さんはぜひ社会の仕組みを変えていってほしい。

- 審査委員
- 群馬銀行専務 入沢 広之氏
  - 上毛新聞社長 関口 雅弘氏
  - デロイトトーマツグループ CSIO 前田 善宏氏
  - パニッシュ・スタンダード CEO 小野里寧晃氏
- ゲスト審査員
- 有限会社 アゼット
  - 株式会社 石井設計
  - 株式会社 小淵警備保障
  - 株式会社 小淵警備保障

Gunma Innovation Award 2023

Advertisement for Gunma Innovation Award 2023 featuring logos of sponsors and partners:

- JINS HOLDINGS
- OPEN HOUSE GROUP
- SEGASammy
- CAINZ
- 群馬銀行 (Gunma Bank)
- 冬木工業株式会社 (Fuyuki Kogyo)
- 糸井商事 (Ito Sei Shoji)
- Farmdo group
- Deloitte. デロイトトーマツ
- 株式会社 コシダカホールディングス (Kosidaka Holdings)
- 相模屋 相模屋食料株式会社 (Saimoya)
- 株式会社 相川管理 (Aikawa Management)
- 赤尾商事株式会社 (Akao Shoji)
- ASAHI 株式会社 アサヒ商会 (Asahi)
- 有限会社 アゼット (Azet)
- 株式会社 石井設計 (Ishii Sekkei)
- 株式会社 石川建設 (Ishikawa)
- オネスティハウス 髙石田屋 (Onestei House)
- USUI
- emu salon
- 大塚商会 (Otsuka Shohai)
- 株式会社 小淵警備保障 (Kobuchi Keibu Hoho)
- ORBIS オルビス (Orbis)
- カネコ種苗株式会社 (Kaneko Shumuhou)
- 共愛学園前橋国際大学 KYOAI GAKUEN UNIVERSITY
- ELSPINA クラシカ工業株式会社 (Els pina)
- グスリのマリエ (Gusuri Mari)
- CLIMB CLIMB CO.,LTD.
- 野原くらぶ (Nozawa Kurabu)
- グルメフレッシュ・フーズ (Gourmet Fresh Foods)
- 群馬トヨタグループ (Gunma Toyota Group)
- KJ Internacional
- KOEI コエイ株式会社 (Koei)
- 国際警備株式会社 (Kokusai Security Services)
- 水と生きる SUNTORY (Suntory)
- JTB
- JAOS Experience a New Adventure.